
第91回学長定例記者会見

日時：平成29年9月25日（月）11：00～11：30

場所：広島大学 東広島キャンパス 法人本部棟4階 4F会議室

※テレビ会議システムにより、記者会見の様様を同時配信

受信場所：東千田キャンパス 総合校舎 1階会議室

※Ustream および YouTube による録画配信を実施

【発表事項】

1. 平成29年度「大学の世界展開力強化事業」に採択されました
2. シリア難民留学生を広島大学大学院へ受け入れます
3. 「World Health Summit in Hiroshima 2017」を開催します

【お知らせ】

1. 第14回連携・教育フォーラムを開催します
全体テーマ「日本一の教育を目指して～一流から超一流への挑戦～」
2. ひろしまアントレプレナーシッププログラムを開催します
3. 中山間地域・島しょ部や広島県内の地域課題解決につなげる一般公開講座（特別講座）を開講します
4. 第5回広島大学フェニックスリレーマラソンを開催します

■次回の学長定例記者会見（予定）

日時：10月23日（月）

場所：霞キャンパス



平成29年9月25日

平成29年度「大学の世界展開力強化事業」に採択されました

文部科学省の平成29年度「大学の世界展開力強化事業～ロシア、インド等との大学間交流形成支援～ タイプA：交流推進プログラム（インド）」に、本学の申請したプログラムが採択されました。

本プログラムは、参加学生のグローバル・コンピテンシーを段階的に昂進させる日印教育交流パッケージを提供し、革新技术を社会へ実装する高度イノベーション人材を養成するものです。また、こうした人材を5年間の事業期間後にも継続的かつ安定的に輩出するため、日印協定大学間で制度調整を重ね、「国際リンケージ型学位プログラム（ILDP）」を構築します。

今回の公募では全国の国公立大学から14件の申請があり、本学の提案を含む2件が採択されました。採択された本学プログラムの概要は、下記のとおりです。

なお、本事業の補助期間は5年、事業規模は総額2億円程度の予定です。

記

【構想名称】先端技術を社会実装するイノベーション人材養成のための国際リンケージ型学位プログラム

【実施期間】平成29年度～平成33年度

【交流規模（年間）】受入・派遣 各36人（初年度のみ各18人）

【交流大学】インド工科大学デリー校、インド工科大学ムンバイ校、インド技術科学大学シブプール校、ビルラ技術科学大学ピラニ校、インド中央電子工学研究所、インド経営大学院アーメダバード校

【構想概要】本プログラムは、次のような3つのコース・7つの交流取組から構成される日印教育交流パッケージを参加学生に提供します。

コース名	交流取組	内容
ILDP Entry Course	専門外国語研修	ショートステイの外国語研修
	起業案作成演習	起業案や政策提案を作成するワークショップ
	異文化理解短期留学	外国語力と異文化理解力を強化するセメスター留学
ILDP Intermediate Course	キャリアデザイン	グローバル・インターンシップ
	日印協働研修	実践的課題解決型サマープログラム
ILDP Advanced Course	プロトタイプ演習	起業コンテスト等での実践研修
	日印協働チーム研究	日印学生間の学際チーム研究

同パッケージを通じて、日印両国に共通して特に優先度が高い「スマートインフラ整備」、「新エネルギー」、「環境持続性」の3分野及びその融合領域について、①地域の社会課題に即した革新技术を創生する起業家・技術者、②新たに創生された革新技术を日印社会に適切に実装する政策立案者・研究者、を養成します。同時に、インド交流大学との制度調整を重ね、異なる学修制度を効率的に接合させた「国際リンケージ型学位プログラム」を構築します。

【お問い合わせ先】

研究企画室 小左古 学

TEL:082-424-5860 FAX:082-424-4592

大学の世界展開力強化事業(平成29年度選定) 広島大学 取組概要

【事業の名称】(選定年度29年度・(タイプA(インド)))
先端技術を社会実装するイノベーション人材養成のための国際リンケージ型学位プログラム

【事業の概要】
日印間で優先度が高い「スマートインフラ整備」「新エネルギー」「環境持続性」の3分野及びその融合技術分野を対象に、「日印教育交流パッケージ」の実施を通じ、革新技術を社会へ実装する高度イノベーション人材を養成する。また、6つのインド協定大学との調整を重ね、地域課題に沿って技術開発の方向を誘導し、社会へ定着できるリーダーを養成する**国際リンケージ型学位プログラム(ILDP)**を構築する。

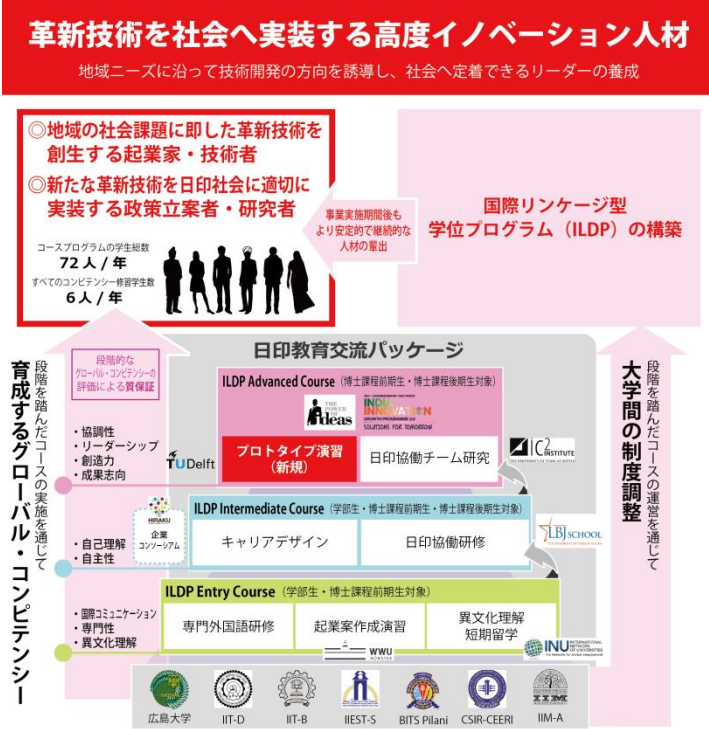
- 【交流プログラムの概要】
グローバル・コンピテンシーを段階的に昇進させる日印教育交流プログラムをパッケージとして提供する。その上で、日印協定大学間で制度調整のうえ効率的に接合させる新しい学位プログラムの構築を目指す。
提供する日印教育交流パッケージは、以下の3つのコースで構成される。
- Entry Course: 学部生、博士課程前期生を対象とし、専門外国語研修、企業案作成演習、異文化理解短期留学という3つの教育交流取組を通じて、それぞれ国際コミュニケーション、専門性、異文化理解というコンピテンシーの習得を目的とする。質保証として、留学の学習成果分析ツールで知られるBEVIテストを留学前後に実施。
 - Intermediate Course: 学部生、博士課程前期生、後期生を対象とし、キャリアデザイン、日印協働研修という2つの取組から、自己理解、自主性を養成する。ホスト機関等の実務者による学修評価。
 - Advanced Course: 博士課程前期生・後期生を対象とし、日印協働チーム研究、プロトタイプ演習を通じて、リーダーシップと協調性、成果志向と創造性を身に着ける。2種類の起業コンテストによる実地での学修評価。

- 【本事業で養成する人材像】
異分野の専門家と協働し、日印の社会課題解決に貢献する次のリーダーを育成する。
- 地域の社会課題に即した**革新技術を創生する起業家・技術者**
 - 新たに創生された革新技術を**日印社会に適切に実装する政策立案者・研究者**

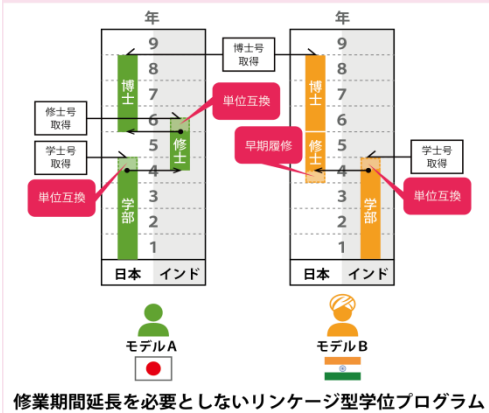
- 【本事業の特徴】
- ① 本学の国際交流の取組をパッケージ化し**段階的に**グローバル・コンピテンシーを高める日印協定大学間の教育交流プログラムの展開
 - ② プログラムの全課程を通じて日印学生の主体的で優秀な提案を選抜して支援する**学生提案支援型教育**の徹底
 - ③ ブレインストーミングからインキュベーションまで**起業ステップ**を実践する日印学生協働チーム教育の実施
 - ④ 日印両国に共通して重要性が高い「スマートインフラ整備」「新エネルギー」「環境持続性」の3分野及びその**融合技術開発**に資する起業家、技術者、政策立案者の輩出
 - ⑤ 補助事業期間内に組織レベルのネットワークによる**緊密な大学間調整**と事業運営を通じて効率的に接合させる新しいリンケージ型学位プログラムの構築

【交流予定人数】

	H29	H30	H31	H32	H33
学生の派遣	18	36	36	36	36
学生の受入	18	36	36	36	36



国際リンケージ型学位プログラム (ILDP) の構築



平成29年9月25日

シリア難民留学生を広島大学大学院へ受け入れます

広島大学は、独立行政法人国際協力機構（JICA）による「シリア平和への架け橋・人材育成プログラム」により、本学国際協力研究科にシリア難民留学生の学生1名を受け入れます。

本学生は8月に来日しており、JICAによる約3週間のオリエンテーションに参加し、基礎的な日本語や日本の生活習慣などの研修を受けました。

本学国際協力研究科には10月から1年間研究生として受け入れ、その後、博士課程前期で2年間学ぶ予定です。

本プログラムは、昨年5月に日本政府が表明した中東支援策の1つで、シリア危機により就学機会を奪われたシリア人の若者に教育の機会を提供し、将来のシリア復興を担う人材を育成するものです。

なお、学業への支障や身の安全に影響が出る恐れがありますので、本学生への取材や個人を特定し得る情報の提供については差し控えてさせていただいております。ご理解いただきますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

広島大学大学院国際協力研究科

教授 馬場 卓也

TEL082-424-6942 E-mail: takuba@hiroshima-u.ac.jp



平成29年9月25日

「World Health Summit in Hiroshima 2017」を開催します

広島大学病院の未来型グローバル医療人育成センターは、10月7日（土）、「World Health Summit in Hiroshima 2017」を開催します。日本や米国をはじめ、シンガポール、ベトナムなどアジア各国の医療関係者が集い、各国の医療の現状と今後の課題を探ります。

第1回目となる今回は、ハーバード大学より Ichiro Kawachi 先生、シンガポール総合病院より Lee Kheng Hock 先生 をお招きし、社会資本の医療への投入や諸外国における在宅医療の実状を紹介していただきます。さらに、広島大学病院の教職員や在籍留学生、学生も参加して、各国の医療を取り巻く問題や取り組みに関する討論を通じて国際交流を目指します。

【日 時】平成29年10月7日（土）13:00-17:00

【会 場】広島大学病院 臨床管理棟 3階大会議室

【対象者】医師、歯科医師、研修医、コメディカル、本学学生、教職員等

【プログラム概要】

■基調講演（使用言語：英語（通訳なし））

Dr. Ichiro Kawachi（ハーバード大学）

Dr. Lee Kheng Hock（シンガポール総合病院）

■セッション（使用言語：英語、日本語）

パネリスト Dr. Vo Kim Cat Tuyen（ベトナム）

Dr. Lima Afroza Akther（バングラデシュ）

Dr. Dewi Poerwandari（インドネシア）

Dr. Masahiro Ohira（日本）

Dr. Takanori Taogoshi（日本）

Ms. Miki Kawanami（日本）

高齢化は世界各国の大きな課題です。新たな高齢者医療の在り方が問われている中、広島大学は「未来型グローバル医療人育成センター」を、平成29年1月に立ち上げました。その目的は次の通りです。

- 1.高度先進医療に対応可能な診療施設として充実・強化する
- 2.地域の各拠点病院との連携を図る中心的医療機関としての機能を果たす
- 3.次世代医療を担える人材を輩出する
- 4.先端的で特色ある研究を推進する
- 5.質の高い医療提供体制を構築する

この取り組みは、広島大学病院が持つ高度先進医療と地域医療連携「広島・尾道モデル」を統合的に活用できる社会の実現を目指しています。その実現のために、先進医療と地域医療の両者に精通する新たなタイプの医療人を育成します。日本はもとより欧米先進諸国およびアジア諸国の高齢化へも適応できる、未来型地域医療（在宅医療と高度先進医療の融合）を目指すグローバルプランです。

＊地域医療連携「広島・尾道モデル」

広島県の尾道地域では、ICTを活用した地域内の医療・介護情報の共有化の推進や在宅診療、服薬指導などの充実によって、全国的にも特色ある地域包括ケアの取り組みを実践しています。発展的な地域医療連携モデルとして、その実証と効果を全国に発信し、「高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らし続けるための地域社会」の確立を目指しています。

【お問い合わせ先】

未来型グローバル医療人育成センター センター長 田妻 進 Tel：082-257-5461 FAX：082-257-5461 E-mail：miraigata@hiroshima-u.ac.jp



HIROSHIMA UNIVERSITY



WORLD HEALTH SUMMIT IN HIROSHIMA 2017

Oct. 7th (Sat) 13:00-17:00

 **Hiroshima University Hospital**

Main conference room

Keynote lectures



Hiroshima



Dr. Ichiro Kawachi

Professor of Social Epidemiology,
Chair Department of Social and
Behavioral Sciences,
Harvard School of Public Health



Dr. Lee Kheng Hock

Associate professor of Family
Medicine and Continuing Care,
Singapore General Hospital

President, College of Family
Physicians Singapore



Panelists



Dr. Vo Kim Cat Tuyen



Dr. Lima Afroza Akther



Dr. Dewi Poerwandari



Dr. Masahiro Ohira



Dr. Takanori Taogoshi



Ms. Miki Kawanami

Center for the Education of Futuristic Global Medical Professionals

✉ miraigata@hiroshima-u.ac.jp

WORLD HEALTH SUMMIT IN HIROSHIMA 2017

平成**29**年 **10**月**7**日（土） **13:00～17:00**

会場

広島大学病院

臨床管理棟3階 大会議室

基調講演



Dr. Ichiro Kawachi

Professor of Social Epidemiology,
Chair Department of Social and
Behavioral Sciences,
Harvard School of Public Health



Dr. Lee Kheng Hock

Associate professor of Family
Medicine and Continuing Care,
Singapore General Hospital

President, College of Family
Physicians Singapore



Panelists



Dr. Vo Kim Cat Tuyen



Dr. Lima Afroza Akther



Dr. Dewi Poerwandari



Dr. Masahiro Ohira



Dr. Takanori Taogoshi



Ms. Miki Kawanami



問い合わせ先：未来型グローバル医療人育成センター

✉ miraigata@hiroshima-u.ac.jp

広島大学関連医療施設ネットワーク構築とその活用による未来型グローバル医療人育成

【目的】世界的に進む社会の高齢化は未来志向の地域医療連携システムを求めている。本取組は①広島大学病院が推進する先端医療と、②日本の地域包括ケアシステムの礎である先進的地域医療システム(広島・尾道モデル)を融合させて、③国内外にトランスレーショナルリサーチの地域医療での実践(From Bench to regional medicine)を推進する**未来型グローバル医療人**を広島大学関連医療施設ネットワークで育成する。対極的な**先進医療と地域医療**の融合をWorld health summitから情報発信して**広島大学ブランド力**を高める。

【必要性・重要性】高齢化はグローバルな課題である。医学研究・医療の進歩は目覚ましく、その活用による新たな高齢者医療の提案は社会的ニーズである。地域医療連携「広島・尾道モデル」と広島大学病院の高度先進医療の統合的活用を目指し世界的視野に立つグローバル医療人育成とその実践的機能による未来型地域医療の提案である。広島大学・広島尾道モデルのブランド力強化が若手医療人の地域回帰につながる。



【期待される効果】技術革新が急速に進む医療を優れた在宅医療システムを活用して地域医療の中で実践的に活用する社会を目指す本取組は先進医療と地域医療の両者に精通する新たなタイプの医療人を育成するもので、我が国はもとより欧米先進諸国およびアジア諸国の高齢化へも適応する未来型地域医療(在宅医療と高度先進医療の融合)を提供するグローバルプランである。広島大学病院のブランド力を高め、我が国をリードしてきた先進的地域医療システムのブランド力を国際化して認知度を高め、若手医療人の地域回帰のモデルとなることが期待される。



平成29年9月25日

第14回連携・教育フォーラムを開催します

全体テーマ「日本一の教育を目指して～一流から超一流への挑戦～」

広島大学教育学研究科では、東広島市教育委員会との連携事業として標記フォーラムを開催いたします。

今年度は、学習指導要領の要点を踏まえた教育課程編成及び実施について認識を深めるとともに、各教科等の実践発表等をもとにした協議を通して、これまでの実践から得られた成果と課題を振り返り、児童生徒に確かな学力を身に付けさせる質の高い授業づくりに資することを目的とし、「小中学校国語科」「小学校算数科」「小学校理科」「中学校外国語科」「小学校道徳」「小学校総合的な学習の時間」の6分科会を開催します。

【日時】

平成29年9月30日（土）9：00～12：00（受付8：30～9：00）

※受付場所 各分科会会場

（取材を希望される方は、事前に下記お問い合わせ先（大里）までご連絡ください。）

【参加対象者】

広島大学大学院教育学研究科教員及び大学院生・学部生、東広島市内教職員及び教育関係者、東広島こころ塾生

【主催】広島大学大学院教育学研究科・東広島市教育委員会

※プログラムの詳細は、別添のチラシをご覧ください。

【お問い合わせ先】

広島大学大学院教育学研究科 担当：大里

電話番号： 082-424-4622

メールアドレス： osato@hiroshima-u.ac.jp

東広島市教育委員会 学校教育部 指導課 担当：三井

電話番号： 082-420-0976

メールアドレス： hgh200976@city.higashihiroshima.lg.jp



全体テーマ「日本一の教育を目指して～一流から超一流への挑戦～」



第14回連携・教育フォーラム

開催日時

平成29年9月30日（土）9：00～12：00 【受付 8：30～9：00】

主催

広島大学大学院教育学研究科・東広島市教育委員会

会場

広島大学教育学部 L棟 205 講義室 他



【第13回連携・教育フォーラム 分科会の様子】

参加対象者

広島大学大学院教育学研究科教員、広島大学大学院生・学部生
東広島市立幼稚園・小中学校教職員、東広島こころ塾生

当日の流れ

I 分科会【9：00～10：15 各講義室】

分科会テーマ「学び続ける教員であるために～主体的な学びを実現する授業づくり～」

■第1分科会「小中学校国語科」 L棟102講義室

指導助言者：

広島大学大学院教育学研究科 教授 山元 隆春

実践発表者：東広島市立松賀中学校
教諭 岩本 幸子
東広島市立東志和小学校
教諭 井上 陽子

■第2分科会「小学校算数科」 L棟104講義室

指導助言者：

広島大学大学院教育学研究科 教授 松浦 武人

実践発表者：広島大学教職大学院
院生 村上 良太
（所属校：三原市立三原小学校）

■第3分科会「小学校理科」 L棟107講義室

指導助言者：

広島大学大学院教育学研究科 准教授 木下 博義

実践発表者：広島大学教職大学院
院生 中山 貴司
（所属校：広島大学附属東雲小学校）

■第4分科会「中学校外国語科」 L棟204講義室

指導助言者：

広島大学大学院教育学研究科 准教授 樫葉 みつ子

実践発表者：東広島市立高美が丘中学校
指導教諭 小寺 恭子

■第5分科会「小学校道徳」 L棟109講義室

指導助言者：

広島大学大学院教育学研究科 教授 宮里 智恵

実践発表者：広島大学教職大学院
院生 濱田 直美
武藤 寛弥

■第6分科会「小学校総合的な学習の時間」 L棟206講義室

指導助言者：

広島大学大学院教育学研究科 教授 朝倉 淳

実践発表者：東広島市立西条小学校
教諭 段吉 亜由美

II 全体会【10：30～ 12：00 L棟205講義室】

- ・開会行事 挨拶 広島大学大学院教育学研究科長 小山 正孝
- ・パネルディスカッション
テーマ「今日こそ聞いてみよう！『主体的な学び』って何？」
コーディネーター 広島大学大学院教育学研究科 教授 鈴木 由美子
- ・閉会行事 挨拶 東広島市教育委員会教育長 津森 毅

■問い合わせ 広島大学大学院教育学研究科 担当：大里
【電話番号】 082-424-4622 【メールアドレス】 osato@hiroshima-u.ac.jp
東広島市教育委員会 学校教育部 指導課 担当：三井
【電話番号】 082-420-0976 【メールアドレス】 hgh200976@city.higashihiroshima.lg.jp



平成29年9月25日

ひろしまアントレプレナーシッププログラム 「フェニックスアントレプレナーコンペ」を開催します

広島大学産学・地域連携センターでは、ひろしまアントレプレナーシッププログラム「フェニックスアントレプレナーコンペ」を開催します。

本プログラムを受講している学生や社会人のチーム（第4期生）がベンチャービジネス創出に向けて実施した半年間のプロジェクト成果を発表します。また、合わせて広島大学の研究成果を活用したビジネスプランの発表会も行います。

皆様に参加いただきたく、ご案内いたします。

- 【日時】 平成29年9月30日（土）13:00～18:00
【場所】 サテライトキャンパスひろしま 504中講義室
（〒730-0051 広島市中区大手町1丁目5-3）

【プログラム】

- 第1部 広島大学の研究成果にもとづく起業プラン
発表（4人程度）
第2部 ひろしまアントレプレナーシッププログラム第4期生のプロジェクト成果
発表（5チーム程度）
審査発表・表彰

※18時10分から情報交換会（交流会）を開催します。

参加費：大人 1,000円、学生 無料

- 【主催】 広島大学産学・地域連携センター
【共催】 広島大学フェニックス協力会
【後援】 NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)

※広島大学では、平成26年度から3年間、文部科学省「グローバルアントレプレナー育成促進事業（EDGE プログラム：Enhancing Development of Global Entrepreneur Program の略）」の支援を受けて、起業家などを育成してきました。

本プログラムは、それを引き継ぎ、我が国におけるイノベーション創出の活性化のため、大学等の研究開発成果を基にしたベンチャーの創業や、既存企業による新事業の創出を促進する人材の育成と関係者・関係機関によるイノベーション・エコシステムの形成を目的として実施しています。

【お問い合わせ先】

広島大学産学・地域連携センター
新産業創出・教育部門 VBL オフィス
TEL：082-424-7880 / FAX：082-424-7881
E-MAIL：vbl@hiroshima-u.ac.jp

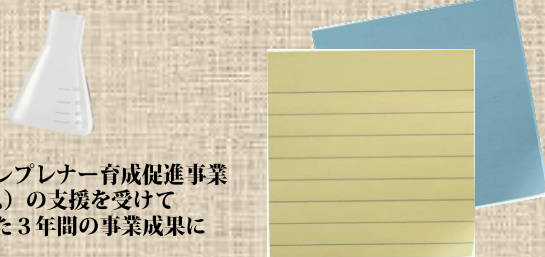
第4回

ひろしまアントレプレナーシッププログラム

フェニックスアントレプレナー

コンペ

本コンペは
文部科学省
グローバルアントレプレナー育成促進事業
(EDGEプログラム)の支援を受けて
広島大学が実施した3年間の事業成果に
もとづくものです



場所
サテライトキャンパスひろしま504中講義室
広島市中区大手町1丁目5-3 (広島県民文化センター5階)

第1部

13:00～ 広島大学の研究成果にもとづく
起業プラン発表

第2部

15:00～ 第4期
ひろしまアントレプレナーシッププログラム
受講生のビジネスプラン発表

情報交換会

18:10～ 広島市内で実施、要申込
*詳細は近日中にHPに掲載 <http://www.hirodai-edge.jp/>

問い合わせ・申込先

広島大学 産学・地域連携センター VBLオフィス
082-424-7880/FAX 082-424-7881
vbl@hiroshima-u.ac.jp



✓ QRコードを読み取って簡単申込!

2017.

9.30

SAT

参加無料

主催：国立大学法人 広島大学 産学・地域連携センター

共催：広島大学 フェニックス協力会

後援：NEDO (国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)



平成29年9月25日

広大生といっしょに受講しませんか！

中山間地域等の課題解決につなげる公開講座

生物生産学部では、中山間地域・島しょ部や広島県内の地域社会が抱える課題への認識を深め、この解決に向けて自ら考え主体的に行動できる学生の育成にむけて、地域と連携した教育を地（知）の拠点活動として実施しています。

今回ご案内する公開講座（特別講座）は、広島県内で実際に地域おこしや地域産業の中核として、また県行政の中で活躍されている方をお招きするもので、中山間地域・島しょ部や広島県内の地域課題解決につなげるための講座です。

ご関心のある講義への地域の皆様の参加を学生と共にお待ちしております。

【日時・講座内容】※開催時間はすべて 16:20～17:50 です。（敬称略）

10月11日（水）『江の川漁協の豊かな川づくり（仮）』

『川根振興協議会の心のきずなと住みやすい地域づくりについて（仮）』

江の川漁協組合長＆川根振興協議会長 辻駒健二

10月18日（水）『農村女性フォーラム(地域で活躍する女性たちをパネリストに迎えて)』

世羅高原カメラ女子旅 主宰 吉宗五十鈴

フルーツ夢工房 MUKAISHIMA 代表 半田 史子

おのベジ横山農園 代表 卯元 幸江

10月25日（水）『食品メーカーとして（仮）』

株式会社あじかん 研究開発センター 研究部・開発部等

11月8日（水）『赤紫蘇のこだわりと地域産業の活性化』

三島食品株式会社 取締役研究所長 馬場堅治

三島食品株式会社 研究員 高橋裕昭

11月15日（水）『地域とともにあり続ける（仮）』

株式会社島ごころ 代表取締役社長 奥本 隆三

11月22日（水）『トムミルクファームの畜産経営・6次産業化等への取組み』

トム・ミルクファーム代表取締役 沖正文

『東広島市の農畜産業と6次産業（仮）』

東広島市農林水産課

11月29日（水）『中山間地域の振興に向けた取組について（仮）』

広島県庁地域政策局中山間地域振興課長 木村富美

【場所】広島大学東広島キャンパス 生物生産学部 C201 講義室

※受講者数によって、教室を変更する場合があります。

【定員】50～70名程度（学生・院生・一般）

【お問い合わせ先】

生物圏科学研究科食料生産管理学 准教授 細野賢治
同 地域連携室コーディネータ 大泉賢吾
TEL:082-424-7905 FAX:082-424-2037
E mail sei-chiiki@office.hiroshima-u.ac.jp

広大生といっしょに受講しませんか！

中山間地域・島しょ部連携特別講座

一般公開講座

生物生産学部
C201教室

江の川漁協・川根

女性フォーラム

あじかん

三島食品

講義日程	講 師（敬称略）	テーマ・内容
10月11日（水） 16:20～17:50	江の川漁協組合長＆川根振興協議会長 辻駒健二	・江の川漁協の豊かな川づくりについて（仮） ・川根振興協議会の心のきずなと住みやすい地域づくりについて（仮）
10月18日（水） 16:20～17:50	農村女性フォーラム ①世羅高原カメラ女子旅 主宰 吉宗五十鈴 ②フルーツ夢工房MUKAISHIMA 代表 半田 史子 ③おのベジ横山農園 代表 卯元 幸江	地域で活躍する女性たちをパネリストに迎えてのフォーラム（仮）
10月25日（水） 16:20～17:50	株式会社あじかん 研究開発センター 研究部・開発部等	食品メーカーとして（仮）
11月8日（水） 16:20～17:50	三島食品株式会社 ①取締役研究所長 馬場堅治 ②直営農場「紫の里」担当研究員 高橋裕昭	・赤紫蘇のこだわりと地域産業の活性化
11月15日（水） 16:20～17:50	株式会社島ごころ 代表取締役社長 奥本 隆三	地域とともにあり続ける（仮）
11月22日（水） 16:20～17:50	①トム・ミルクファーム代表取締役 沖 正文 ②東広島市農林水産課	・トムミルクファームの畜産経営と6次産業化等への取組み ・東広島市の農畜産業と6次産業（仮）
11月29日（水） 16:20～17:50	広島県庁 地域政策局 中山間地域振興課 課長 木村富美	中山間地域の振興に向けた取組について（仮）

島ごころ

トムミルクファーム

県 中山間地域振興課



平成29年9月25日

第5回広島大学フェニックスリレーマラソンを開催します

広島大学体育会主催による「第5回広島大学フェニックスリレーマラソン」を10月22日（日）に開催します。

9つの参加部門を設け、2名～10名で構成するチームでたすきをつなぎ、広島大学キャンパス内の約1.2kmの特設コースを4時間でどれだけ周回できるかを競います。

150チームで熱いレースを繰り広げます。皆様の温かい応援をお待ちしています。

なお、持参・郵送・FAXでの募集締切りは10月2日（月）までです。ご参加をお待ちしています。

記

【日 時】 平成29年10月22日（日） ※小雨決行

【場 所】 広島大学東広島キャンパス

【募集定員】 150チーム（1チーム：2～10人、1,100人程度）

※コースの安全確保のため、規定の団体数に達し次第、募集を締め切ります。

【参加料】 一般の方 2,000円／人
高校生以下 1,000円／人

【参加資格】 老若男女、学内外を問わず出場可能。ただし、健康であり、長時間の運動を行っても支障がない方に限ります。

【参加申込】 大会パンフレットの参加申込書に必要事項をご記入の上、持参郵送もしくはFAXによりお申し込みいただくか、インターネット（<http://runnet.jp>）よりお申し込みください。

【募集締切】 インターネット 平成29年9月25日（月）

持参・郵送・FAX 平成29年10月2日（月）

【大会HP】 <http://home.hiroshima-u.ac.jp/husa1rm/husa/relaymarathon/index.html>

【お問い合わせ先】

広島大学体育会窓口

TEL・FAX:082-424-9217

Link!

未来を、地域を、仲間をつなぐ

第4回 広島大学 フェニックスリレーマラソン



第5回広島大学 フェニックスリレーマラソン

10.22 sun

会場：広島大学東広島キャンパス
(約1.2km)

主催 広島大学体育会
後援 東広島市
東広島市教育委員会
中国新聞社
公益財団法人久保スポーツ振興基金
中国放送
テレビ新広島
広島テレビ
広島ホームテレビ

募集締切

インターネット 平成29年 9月25日(月)

持参・郵送・FAX 平成29年 10月 2 日(月)

1. 競技内容

4時間
リレーマラソン

2名～10名で構成するチームでたすきをつなぎ、広島大学東広島キャンパス内の特設コース（約1.2km）を4時間（4時間を超えてのたすき渡しはできません）でどれだけ周回できるかを競います。

2. 大会実施要項

■ 開催日／平成29年10月22日(日) ※小雨決行

■ 開催場所／広島大学東広島キャンパス内
(東広島市鏡山1丁目)

■ スケジュール (予定)

10月21日(土)

16:00 前日受付 (18:00まで)

10月22日(日)

7:30 当日受付 (8:30まで)

9:00 開会式・チーム代表者会議

10:00 競技開始

14:00 競技終了

15:00 閉会式

16:00 解散

■ 募集期間

募集開始：平成29年7月19日(水)

募集締切：インターネット 平成29年9月25日(月)
持参、郵送、FAX 平成29年10月2日(月)

■ お申し込みについて

右ページをご参照ください。

■ 募集定員

150チーム (1,100名程度)

※コースの安全確保のため、規定の団体数に達し次第、募集を締め切ります。

■ 参加料

一般	2,000円
高校生以下	1,000円
体育会(賛助)会員	1,200円

※参加料には、大会中のケガ等を保障する傷害保険の掛け金が含まれます。
※エントリーは参加料の振込をもって完了となります。

■ 出場資格

老若男女、学内外を問わず出場可能です。ただし、健康であり、長時間の運動を行っても支障がない方に限ります。

※広島大学の学生及び教職員は、東広島キャンパス・霞キャンパスにて健康診断を行います(9月・10月を予定しております。)ので必ず受診してください。詳しくは大会HPをご覧ください。

■ その他

大会当日は駐車場に限りがございますので公共交通機関をご利用ください。

貴重品の管理は各自で行ってください。主催者は、盗難・紛失などの責任は一切負いません。
ゴミは各自でお持ち帰りください。

■ 表彰／9部門

各部門上位3チームは閉会式にて表彰を行います。入賞チームにはご協賛各社より副賞があります！

(A) 一般の部	年齢・性別・所属を問わないチーム
(B) 小学生の部	小学生のみで構成されたチーム ※ただし教師または保護者が3名までチームに加わることは認める。
(C) 中高生の部	中高生のみで構成されたチーム
(D) ファミリーの部	家族のみで構成されたチーム
(E) なでしこの部	女性のみで構成されたチーム
(F) 地域の部	東広島市民または東広島市在住の方のみで構成されたチーム
(G) 企業チームの部	同じ企業に所属するメンバーのみで構成されたチーム
(H) OB・OGの部	広島大学のOB・OGのみで構成されたチーム
(I) 広大の部	広島大学に在学中の学生・教職員のみで構成されたチーム

(A)～(I)のいずれかの部にエントリーしてください。複数に該当するチームはどれか一つを選んでください。
1チームの構成人数は2名～10名とします。

本大会では上記の賞に加え、特別賞として以下の賞を設けます。

<特別賞>

パフォーマンス賞	大会を通して印象に残り、大会を盛り上げたチーム ※全参加チームから3チームを決定します。
----------	--

■ 申込規定及び誓約項目

【申込規定】

- 競技者の大会中での自己責任を明確にするため、申し込みされた全ての参加者は誓約項目に同意し、申し込みを行ったとみなします。
- 個人が複数のチームの代表者を兼ねることはできません。また、個人が複数のチームで参加することもできません。
- 申込書の個人情報、本大会に関わる業務及び今後の大会情報案内を送付させていただく際に使用いたします。参加される方の同意無しに第三者へ開示・提供することはありません。

【誓約項目】大会申し込みの際に参加者は以下の誓約事項に同意の上、お申し込みください。

- 主催者は参加者全員を対象にスポーツ傷害保険に一括加入いたしますが、保険適用外は自己負担とします。また、大会中における盗難・紛失や傷病、不慮の疾病・事故等による処置は、応急処置を除いて一切の責任を負いません。

- 振込後の自己都合による種目変更、キャンセルはできません。不参加、過剰入金、重複入金は返金いたしません。
- 氏名・年齢・性別等の虚偽申告、申込者本人以外の出場等の不正出場は認められません。その場合は出場を取り消します。
- 地震・風水害・事件・事故等による中止、または悪天候による中止及び上記3の場合や、振込後のキャンセルについては、参加料の返金はいたしません。
- 大会中の映像・写真・記事・記録等のテレビ・新聞・雑誌・インターネットなどへの掲載権・肖像権は主催者に属します。
- 決められた場所以外への立入りは禁止いたします。
- 高校生以下の参加については、保護者の同意を得て参加してください。
- 有事の際(救急事案等)は運営本部にのみ、ご連絡をお願いいたします。運営本部より、各所に連絡手配いたします。

3. 申し込み方法

申し込み方法には以下の2通りの方法があります。いずれかを選んでお申し込みください。
受付完了後10月中旬にチーム代表者宛てに大会詳細を記載した書類（競技規定及び大学へのアクセス等）を郵送にてお届けします。

A インターネット

申込締切日 平成29年9月25日(月)

パソコンまたは携帯電話等から下記の URL にアクセスし、大会エントリーページの指示に従ってお申し込みください。
支払方法は、お申し込みの際にお選びいただけます（クレジットカード、コンビニ、ATM など）。

※エントリー手数料が別途かかります。

<http://runnet.jp> 「ランネット」で検索

B 参加申込書の持参・郵送・FAX

申込締切日 平成29年10月2日(月)

次の①、②の手順でお申し込みください。

- ①申込規定を参加者全員が同意の上、以下の「第5回広島大学フェニックスリレーマラソン 参加申込書」に必要事項を記入し、持参・郵送・FAXのいずれかの方法で広島大学体育会窓口へ提出してください。

- ②右に指定する口座へ参加人数に応じた参加料の振込を行ってください。
振込をもって申し込み完了となりますので必ず期限内に行ってください。

振込期限 平成29年10月6日(金)迄

※振込に際しては手数料が別途必要となりますが、個人負担でお願いします。

振込の際の控等は、リレーマラソン終了時まで大切に保管してください。

郵送、FAX による受付先

〒739-8514

東広島市鏡山1-7-1

広島大学フェニックスリレーマラソン実行委員会宛

TEL・FAX：082(424)9217

振込先 : 広島銀行西条南支店

支店コード・口座番号 : 支店コード207 口座番号3271329

普通預金

受取人氏名 : 広島大学フェニックスリレーマラソン
実行委員会

振込人 : ※必ず参加申込書に記入したチーム代表
者様が振込をおこなってください。

切り取り線

第5回 広島大学フェニックスリレーマラソン 参加申込書

出場区分 ※該当部分に必ず○を つけてください		(A) 一般の部 (D) ファミリーの部 (G) 企業チームの部	(B) 小学生の部 (E) なでしこの部 (H) OB・OGの部	(C) 中高生の部 (F) 地域の部 (I) 広大の部	
(フリガナ) チーム名					
所属団体名					
代 表 者	(フリガナ) 氏 名				
	住 所	〒			
	電話番号	自 宅 等 携 帯			
メンバー表					
	氏 名	フリガナ	年齢	性別	体育会会員番号
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

振込金額 一般 人×2,000円

高校生以下 人×1,000円

体育会(賛助)会員 人×1,200円

合計 円

誓約項目に参加者全員が
同意した上でチェック

☐

※出場区分は該当する部門に丸を付けてください。複数に該当するチームはどれか一つを選んでください。未記入又は複数に記入している場合、部門別の受賞資格を与えないことがあります。

なお、メンバーの数字は走る順番とは関係ありません。

※誓約項目に同意したことを示すチェック欄にチェックがなければ参加できません。

第5回広島大学フェニックスリレーマラソンコース図

- ・コース全長約1.2km
小さなお子様からご年配の方まで、どなたでも走りやすい距離になってます！
- ・大学キャンパスの校舎群と自然の両方をお楽しみいただけます！

お問合せ

広島大学体育会窓口

住所：東広島市鏡山1丁目7-1

TEL・FAX：082(424)9217

E-mail：marathon@sitehusa.xsrv.jp

営業時間：9:30～17:00(土・日・祝日を除く)

(夏季休業中は月・水・金の11:00～15:00のみ)

ホームページ

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/>

husa1rm/husa/relaymarathon/index.html

